

9インチワンセグ付
ポータブルナビゲーション
OT-TN902K用

ナビゲーション操作説明書

Ver 1.0

※製品本体の基本操作については、
別冊「**本体操作説明書**」をご覧ください。



- この度は、9インチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

目 次

1. はじめに	2
2. 安全上のご注意	3
3. ナビゲーションの使い方	4
3-1. ナビゲーションの起動と終了	5
3-2. 地図画面の説明	7
3-3. 現在地の表示	9
3-4. 受信状況の確認	10
3-5. 地図画面の操作	11
3-6. 地図画面から他の画面への移動	14
3-7. ナビ走行	15
3-8. 経路地の登録	20
3-9. ルート検索	22
3-10. デモ走行	24
3-11. ナビ走行中の画面	27
3-12. 保存したルートの利用	31
3-13. 周辺施設検索	33
3-14. 地点登録	34
3-15. 自宅登録・自宅へ戻る	36
3-16. ナビメニュー	39
3-17. 検索モード	40
3-17-1. 住所検索	41
3-17-2. 施設検索	44
3-17-3. 電話番号／マップコード検索	46
3-17-4. 登録地点	48
3-17-5. 目的地履歴	51
3-18. るるぶDATA	52
3-19. 設定	56
3-20. 入力パネルの使い方	59
3-21. ウォーキングナビ	60
3-22. 交通安全案内（安全運転支援情報表示機能）	63
3-23. よくある質問	65
4. 制限事項	67
5. GPSの基礎知識	68
6. お問い合わせ先	69

1. はじめに

この度は、当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。

本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、
衛星よりの位置情報を捕捉することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。

従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と
目的地までの到着ルート算出するナビゲーションとは仕様が異なります
のでその特性をご理解の上、ご使用くださいますようお願い致します。

<<GPSナビゲーションの特性>>

- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を捕捉する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
- ③電源をOFFする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
- ④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されずと
測位完了しております。ルート設定や各種機能进行操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対
におやめください。
- ⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなる
ため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと
呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの
受信は速くなります。

2. 安全上のご注意

●ご使用の注意

- ・歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないでください。
- ・ルート案内中でも、常に実際の交通規則、道路状況に従ってください。
- ・一方通行表示についても実際の交通規制標識・標示などを優先してください。

●その他のご注意

- ・GPS電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）ではナビゲーション機能は利用できません。また悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- ・GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- ・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にカー電源を接続することをお勧めします。
- ・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- ・初回の充電は電源OFFにして充電し、高温、高湿度の場所での充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- ・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性があります。登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

●免責事項

- ・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- ・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- ・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

●最新地図搭載

本製品は、完成予定も含め最新道路地図をもとに作成していますが、まれに実際の道路と違う場合があります。実際の道路にしたがって安全に走行してください。

ナビプログラムや取扱説明書、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。

また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

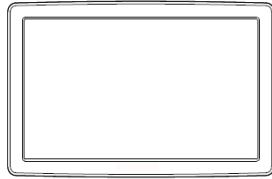
3. ナビゲーションの使い方

本製品のナビゲーション地図ソフトは内蔵メモリーに搭載されております。
電源ボタンがONされていることを確認して、メインメニューから
「ナビゲーション」ボタンを画面タッチします。

①本体の電源ジャックに、車載用DCアダプターのプラグを接続します。

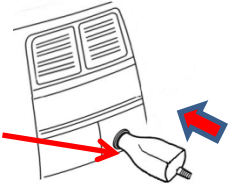
車載用DCアダプター
の端子をさす。

電源用端子
(miniUSBタイプ)



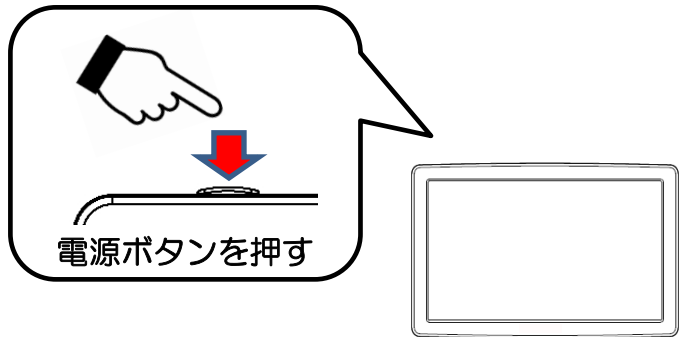
車載用DCアダプターを
車のシガーソケットにさす。

DC電源アダプター



②電源ボタンを軽く長押しすると、
電源が入ります。
電源を切る時は、再度電源ボタンを
長押しします。

③操作は、各メニューを画面タッチ
することにより動作します。



(注意) ダブルタッチを頻繁に繰り返しますと、CPUに負荷がかかり
システムエラーが発生する場合があります。
(システムエラーからの回復は、本体のリセットボタンで行ってください)

ナビプログラムやマニュアル、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

《ナビゲーションのご使用の前に》

ご使用の前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。
屋外の上空の開けた場所で、現在地を表示するまでお待ちください。
初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、数十分かかる
場合があります。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「GPS情報」をタッチすると受信状況が確認できます。

(本体取扱説明書の「GPS情報」参照ください。)

設定ページ



3-1. ナビゲーションの起動と終了

ナビゲーションの起動と終了の方法を解説します。

●ナビゲーションの起動

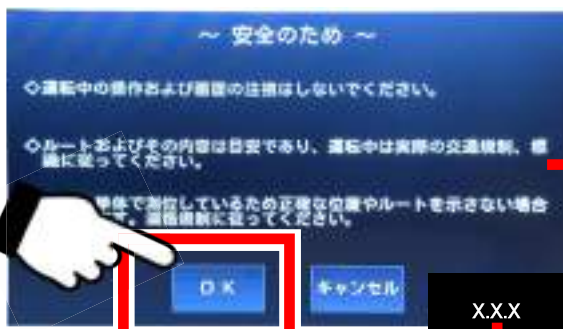
① メインメニューの「地図」ボタンをタッチします。



ナビゲーションの起動ボタン

② ナビゲーション使用上の注意事項が表示されますので、内容をよくお読みください。
以降、「OK」ボタンをタッチすることにより、次の2つの説明画面が表示されます。それぞれ、よくお読みください

- ・ナビゲーションの注意事項
 - ・カーモード/トラックモード
- その後、地図画面が表示されます。



OKボタン

バージョン番号 XXX



ナビゲーションの注意事項



地図画面表示



カーモード/トラックモード

【カーモード/トラックモードについて】

カーモードは一般的なカーナビ、トラックモードはトラック向けのナビです。案内ルートに以下のような特色があります。

- カーモード：
普通乗用車が走行できる道路で案内します。
- トラックモード：
トラックが走行できる道路を優先して案内します。
幅員の狭い道路はトラック走行不可能と判断し、ルートで採用されません。

《カーモード/トラックモード切替》

このアイコンを長押しすると、カーモードとトラックモードが切替わります。

- トラックモード（ナビ）に切り替えるときは、カーモードアイコンを長押ししてOKボタンを押すと切り替わります。
- カーモード（ナビ）に切り替えるときは、トラックモードアイコンを長押ししてOKボタンを押すと切り替わります。



カーモード



トラックモード

●ナビゲーションの終了

- ① 地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチしメニュー画面を表示します。
- ② メニュー画面の右下の「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻り、ナビゲーション機能は終了します。



MENUボタン



終了ボタン



メインメニュー画面

3-2. 地図画面の説明

地図画面の各機能と見方を解説します。




●地図画面の各ボタンの名称

下記マークが表示されていない場合は画面のどこかをタッチしてください。



※「自宅を登録」ボタンは、「3-15.自宅登録・自宅へ戻る」を参照願います。

●地図の中心マークの違いについて

-  : 十字あり緑色のマーク。GPSを受信していない状態です。
-  : 十字なし赤色のマーク。GPSを受信中です。
地図が現在地を表示していないときは、衛星を捕捉中です。
しばらく待つと、地図が現在地に移動します。
-  : 自車のマーク。GPSを受信中で、方向も取得出来ている状態。
設定モードから矢印マークを変更することが出来ます。

《傾斜状態》

走行中の道路の傾斜状態の目安を地図上に表示します。

・ 走行中の道路が上り坂状態

・ 走行中の道路が水平状態

・ 走行中の道路が下り坂状態



※本機能はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。

3秒前のGPSの高度情報と比較し、上り・下り・平坦の3パターンで表示します。

天気、周囲の建物等の受信環境、GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、機能しません。

《トンネルアシスト機能》

トンネルに入ってGPSが受信できなくなったとき、トンネル進入時の速度を保った状態で、自車の位置が移動し続けます。

ナビ走行中に限って動作する機能で、作動中は本来の位置ではないため、

自車のマークの色を変更して区別しています。(矢印→グレー、それ以外→水色)

3-3. 現在地の表示

GPSを有効（衛星を捕捉）にして、現在地を表示する方法を解説します。

- ① 地図画面の左下の「現在地」ボタンをタッチします。



現在地 現在地ボタン

現在地の表示は、必ず屋外の見晴らしの良い場所で行ってください。
室内ですと、GPSの電波を受信出来ません。

- ② 衛星の捕捉が始まります。



衛星の捕捉中を示す画面が中央に現れます。この状態でしばらく待ちますと、現在地へ地図が移動します。

「中止」ボタンをタッチすると、衛星の捕捉を中止します。

- ③ 衛星が捕捉されると現在地へ地図が移動します。



地図画面には住所が表示されます。おおよその場所を表示しているのので、〇〇〇付近としています。

(注) 現在地の表示は、お買い上げ時、または長時間使用していなかった時に行いますと、数分かかる場合があります。
通常使用時でもGPSの電波の受信状況により、数分かかる場合もあります。
予めご了承下さい。

●時刻合わせについて

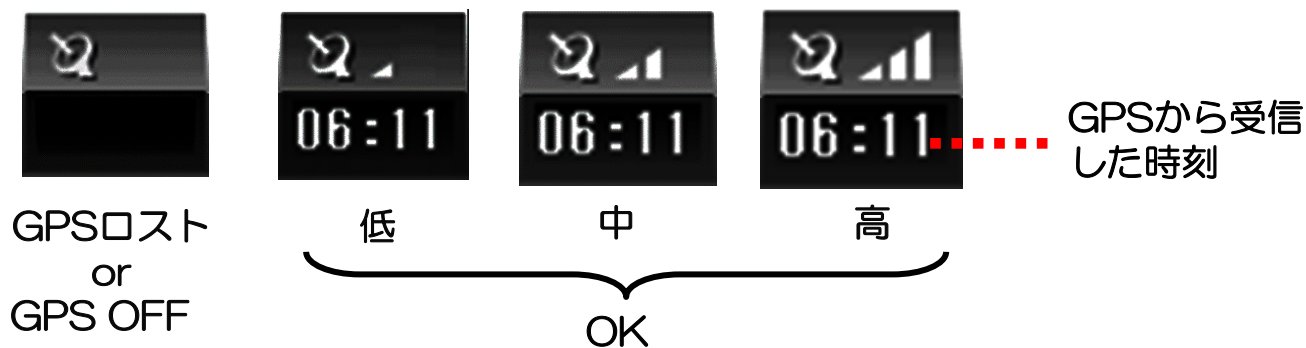
時刻はGPSの電波に含まれている時刻を受信したとき「衛星配置図」の中に表示されます。お客様自身で、時刻を合わせる必要はありません。

3-4. 受信状況の確認

GPS受信状況と衛星配置図の表示方法を解説します。

● 地図画面の衛星配置図でGPSの受信状況を確認

(注) 「衛星配置図」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので一度タッチすると現れます。



実際の状況が反映されて表示されるまで、多少のタイムラグがあります。

● 「衛星配置図」 ボタンをタッチして衛星配置図を確認



黄色や赤色のマークが少ないときは、GPSの受信状況がよくないことを表しています。受信する場所を変えるなどしてみてください。
「現在地」ボタンか、「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

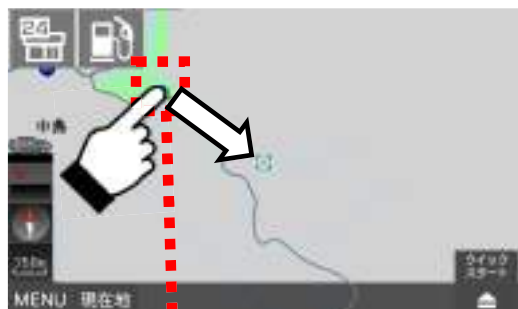
衛星マークの色	● 黄色	● 赤色	● 灰色
衛星受信状況	○	△	×

3-5. 地図画面の操作

地図の移動、拡大縮小、ビュー変更の方法を解説します。

●地図の移動

地図の上をタッチしたまま指をすべらせると画面が指に沿って移動します。指を離すと、画面が止まります。



ここをタッチしたまま指をすべらせる。



地図のタッチした場所が移動する。移動させたい場所に来たら指を離す。

※指をすべらせて地図画面を移動させるときは、指をゆっくりと移動させてください。早く動かすと地図画面が追従しない場合があります。

●地図の拡大縮小

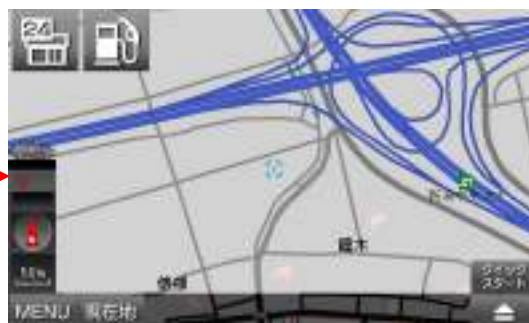
① 地図画面の左の「縮尺変更」ボタンをタッチします。

(注) 「縮尺変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので一度タッチすると現れます。



「縮尺変更」ボタン
(中の数字は現在の尺度)

② 縮尺パネルから表示したい縮尺をタッチします。



縮尺パネルは一定時間経つと、自動的に隠れます。

●地図表示の変更

地図の表示方法を「平面（2種類）」、「立体」表示に切り替えます。

(注) 「地図表示変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「地図表示変更」ボタンをタッチする毎、地図の表示が切り替わります。



平面（ヘッドアップ）

自車の進行方向が上に固定され、地図が回転します。赤い針が指す方向が北。



平面（ヘッドアップ）



平面（ノースアップ）

地図の北方向が上に固定され、自車が回転します。

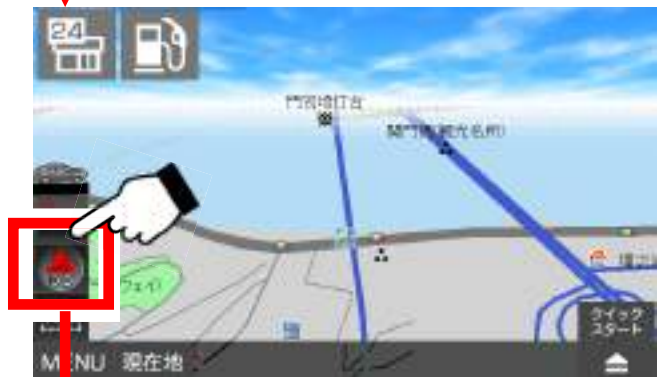


平面（ノースアップ）



立体

平面（ヘッドアップ）の立体表示です。空から見下ろしたように見える3D的な地図表示。



立体

平面（ヘッドアップ）表示へ戻る

●ガソリンスタンドの表示

「ガソリンスタンド表示」ボタンをタッチすると、地図上にガソリンスタンドのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



「ガソリンスタンド表示」ボタン



●コンビニの表示

「コンビニ表示」ボタンをタッチすると、地図上にコンビニのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「コンビニ表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



「コンビニ表示」ボタン



（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンと「コンビニ表示」ボタンは、縮尺が「2.5km」以上のときは表示されません。（ガソリンスタンド、コンビニのデータは地図作成時のものです。）

3-6. 地図画面から他の画面への移動

地図画面からナビメニュー画面へ移動する方法を解説します。

●ナビメニュー画面へ移動する

地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニュー画面へ移動します。

MENU 「MENU」ボタン



地図画面



ナビメニュー画面

(注) 地図画面の道路が途切れている場合について

地図を縮小していくと、画面に表示するエリアが大きくなり、情報量が増加していきます。それによって処理が遅くなることを防ぐ為に、地図上に表示する情報量を減らすことで、対応しています。

地図上で、道路が途中でなくなっている場合、実際にはその先も道路は存在しており、地図を拡大していくことで表示されます。



縮尺250m



縮尺100m

3-7. ナビ走行

実際にナビを行う方法を解説します。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。



行きたい場所表示するにはナビメニューからも可能です。



② 右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



ナビ用パネル

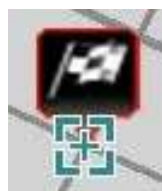
③ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗

ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



※ 目的地に行く前に立ち寄りたい場所がある場合や、特定の場所を経由して目的地に行きたい場合は、経由地を登録してください。



経由地は4ヶ所まで登録できます。
経由地画面の詳しい使い方は、「3-8 経由地の登録」を参照してください。

④ ルート検索パネル (③) の「ナビ走行」にタッチし、チェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。



ルートの種類を選択



(注) 経由地を登録した場合は、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすれば、ルート検索パネル画面になります。

●ルート検索パネルについて

推奨ルート	複数ルート
一般道路優先	高速道路優先
最短距離	ウォーキング
<input checked="" type="checkbox"/> ナビ走行	<input checked="" type="checkbox"/> デモ走行

ルートの種類

実際の「ナビ走行」か、
テストの「デモ走行」か選択

【ルートの種類について】

- 推奨ルート : ナビが自動的に最適なルートを選択します。
- 一般道路優先 : 有料道路を避けて、一般道路を優先したルートを選択します。ただし目的地までの道のりが長距離のときは、有料道路を使う場合があります。
- 高速道路優先 : 有料道路を優先したルートを選択します。
- 最短距離 : 道路の大小に関わらず、目的地までの最短距離のルートを選択します。
- 複数ルート : 一般道路優先、高速道路優先、最短距離のルートを一度に表示します。
- ウォーキング : 徒歩走行にあったルートを選択します。このとき音声ガイドは流れませんので、ご注意ください。

⑤ ルートの種類を選択すると現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっているときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

- ⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。



ルート

水色：一般道
黄色：高速道路

ルートの距離と所要時間
(あくまで目安とお考え下さい)

●ルートの距離と所要時間

走行速度を設定して計算し直す機能はありません。
道路の道幅・制限速度・交差点数などを考慮して、目安として計算して
いますので、実際とは異なる場合がございます。予めご了承下さい。

●ナビ走行の中止

ナビ中止

ナビ走行中、左下の「現在地」ボタンが「ナビ中止」ボタン
に変わります。これをタッチすることで、ナビ走行を中止
することができます。

●クイックスタート

クイック
スタート

右下の「クイックスタート」ボタンをタッチすると、現在の
地図の中心地が目的地に設定されて、ルート検索パネル画面
が表示されます。

●ルートの再利用

「ルート保存」ボタンをタッチすることで、表示しているルートを保存し再利用することができます。
ルートは「カーモード」「トラックモード」それぞれで別々に保存されます。
各モード最大10件まで保存できます。
利用方法は、「3-12. 保存したルートの利用」をご覧ください。



3-8. 経由地の登録

経由地の設定方法について解説します。

● 経由地の設定

- ① 経由地として登録したい位置を地図の中心にし、「ナビ用パネル」の「経由地」ボタンをタッチします。



- ② 経由地画面で「追加」ボタンをタッチします。



地図中央の概要住所が経由地の名称として表示されます。
ナビメニューにある検索機能や登録地点、目的地履歴から地図画面に遷移し、経由地を設定することができます。
この場合、検索した名称が経由地の名称として表示されます。

●経由地の入替

- ① 経由地を複数ヶ所設定した場合、経由地の順番を入替えることができます。



移動したい経由地をタッチすると選択状態になります。「上下」ボタンで順番を変えることができます。

●経由地の削除

- ① 不要な経由地は、取り除くことができます。



「削除」ボタンは対象の行を削除します。「全削除」ボタンは、全ての経由地を削除します。

●経由地の登録

- ① 「保存」ボタンをタッチすると確認画面が表示され、「OK」ボタンで経由地が登録されます。



「キャンセル」ボタンをタッチすると確認画面は消え、経由地画面に戻ります。経由地画面右上の「キャンセル」ボタンをタッチすると、経由地画面での作業はキャンセルされ、経由地画面表示前の経由地状態に戻ります。

3-9. ルート検索

複数ルートとルート検索時の注意点について解説します。

●複数ルートについて

複数ルートを選ぶと、高速道路優先、一般道路優先、最短距離の3つのルートが合わせて表示します。

左上のボタンをタッチして、好みのルートを選んでください。ルートによっては、3つのルートが同じものになる場合もあります。



※ルート線の色は、一般道路は水色 高速道路は黄色に色分けされます。

●ルート検索について

ルート検索に失敗した場合は、現在地を表示できるか確認して下さい。それでも失敗する場合は、目的地をずらして再度、ルート検索を行ってください。

「カーモード」「トラックモード」それぞれで通行可能な道路を選んでルート検索します。

出発地が通行可能な道路から離れている場合は、出発地から離れた場所でルート案内が始まります。また、目的地が通行可能な道路から離れている場合は、目的地から離れた場所でルート案内が終了します。

●ルート再検索（リルート）機能

ルートからある程度外れると、リルート検索を開始します。

ただし、車の速度やGPSの受信状況により、リルート検索に時間がかかることがあります。

また、右左折の方向案内が交錯することがありますので、ルートが安定してからの案内に従ってください。

3-10. デモ走行

ナビ走行のテストを行うデモ走行の方法を解説します。

- ① 地図を移動して出発したい場所を中心にします。



ナビ走行のときは、出発地は自動的に現在地となりますが、デモ走行では、出発地も自由に設定することができます。

- ② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



ナビ用パネル

- ③ 「ナビ用パネル」の「出発地」ボタンをタッチします。

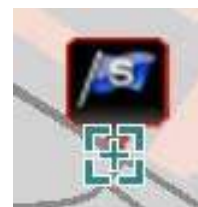


出発地の旗

出発地として設定され、青い旗が立ちます。

※ナビ走行と同様、経由地を設定することができます。

経由地画面の詳しい使い方は、「3-8 経由地の登録」を参照してください。



④ 続いて、地図を移動して行きたい場所を中心にします。



行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

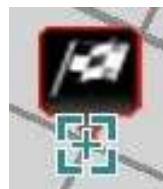
⑤ 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



⑥ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



- ⑦ ルート検索パネルの「デモ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。



ルートの種類を選択



(注) 目的地を設定済みならば、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすれば、ルート検索パネル画面になります。

- ⑧ 出発地から目的地までのルート検索が始まります。



ルート検索には多少の時間がかかります。

(注) デモ走行で、ルート検索が失敗するときは、出発地と目的地の両方とも設定してあるか確認してください。

- ⑨ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。あとは、自動的にデモ走行が再生されます。



ルート
水色：一般道
黄色：高速道路

ルートの距離と所要時間
(あくまで目安とお考え下さい)

3-11. ナビ走行中の画面

ナビ走行中の画面について解説します。

●ナビ走行中の画面の説明



ナビ中止ボタン

※道路名と交差点名の表示について

地図画面上に、道路名と交差点名は表示されません。ナビ走行（デモ走行）をしているときに、現在走行中の道路名と次の交差点の名称がデータに存在する場合に限り表示します。予めご了承下さい。

●デモ走行中の操作ボタン

デモ走行のときのみ、左上に操作ボタンが表示されます。



一時停止 停止 早送り (5段階で変化)

早送りボタンをタッチすると、車の移動が5段階で変化します。
「1倍速→2倍速→3倍速→4倍速→5倍速→1倍速に戻る」

●出発地・目的地・経由地の削除

ナビ走行で目的地に到着し案内が終了すると、出発地、目的地、経由地は削除されます。

●オービスについての注意点（安全運転支援情報表示機能）



本ナビのオービス機能は、電波を検知して知らせるのではなく、地図のデータとして埋め込まれていて、それを案内しています。

よって、オービスが実際は存在するのに、案内が行われない場合もございます。また、反対車線のオービスに反応して案内することもございます。

オービスが近くなると音声で「制限速度に注意して下さい」と案内しますが、交差点の音声案内が優先されて、その音声流れない場合もございます。予めご了承下さい。

●交差点案内

ナビ走行中に交差点が近づいてくると、地図画面の右半分に「分岐案内図」が表示されて、さらに近づくと交差点の「拡大地図」が表示されます。そして右左折の音声案内が、直前・300m・500mの手前で流れます。さらに次の交差点情報の枠と地図画面の右左折地点が、黄色で点滅します。



その次の交差点情報

次の交差点情報
(黄色で点滅)

分岐案内図



右左折地点が黄色の円で点滅



設定の「基本設定」で交差点案内を「矢印」にしている場合

拡大地図
(交差点案内の設定が「矢印」の場合は、表示されません。)

●高速道路案内

ナビ走行中、高速道路を利用する場合は、分岐案内、施設案内が表示されます。

音声案内は、直前と300m、500m、1km、3km手前で行われます。
次の分岐地点・次の高速施設までの距離枠と、地図上の高速施設・分岐地点が黄色で点滅します。

分岐地点が黄色の円で点滅



分岐までの距離・名称
(黄色で点滅)

分岐案内看板

分岐イメージ

ひとつ先の施設へ



施設案内

- 種類と名称
- 距離
- 予想通過時間
(黄色で点滅)

ひとつ前の施設へ

施設案内表示を元に戻す

● 経由地スキップ

画面左上のスキップボタンをタッチすることにより、1つ先の経由地を目標にすることができます。スキップボタンは自車がルートにのってから表示されず。ナビ走行中、目的地方向線（赤点線）は、次に向かう経由地（または目的地）の方向を指します。

※経由地に立ち寄るのをやめた場合や、GPS感度低下などにより経由地付近が判断できなかった場合に利用します。

※自車が目標としている経由地付近に来ると、経由地に到着したと見なし、目的地方向線は自動的に次の経由地を指します。

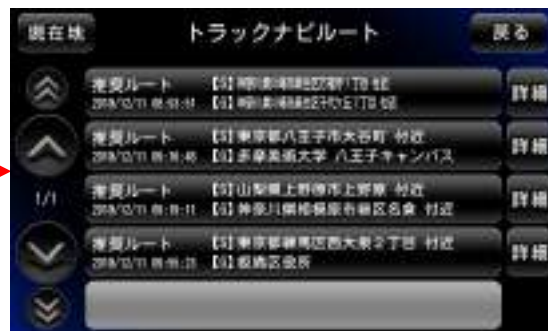


3-12. 保存したルートを利用

保存したルートの利用方法について解説します。

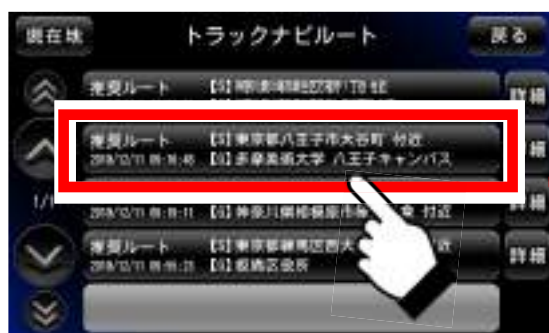
●保存したルートを利用

- ① 「ナビ用パネル」の「ルート一覧」ボタンをタッチします。



保存したルートが一覧表示されます。
※使用中のモードでの保存ルート

- ② ルート一覧のルートタッチすると、そのルートが地図上に再現されます。



トラックモードの場合、自転車位置が保存したルートの始まりから一定距離以上離れていると、ルートの始まりまでルートを引きなおします。ルートの始まりには仮の旗を表示します。

ルート一覧から地図上にルートを再現すると、それまでの目的地、経由地の設定は失われます。ご注意ください。

●保存したルート削除

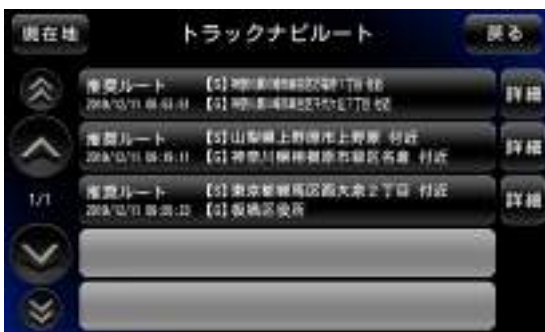
- ① ルート一覧で「詳細」ボタンをタッチすると、そのルートの内容が表示されます。



- ② 「詳細」ボタンをタッチすると、確認画面が表示されるので「OK」ボタンをタッチします。



- ③ ルート一覧画面に戻り、削除が完了します。



3-13. 周辺施設検索

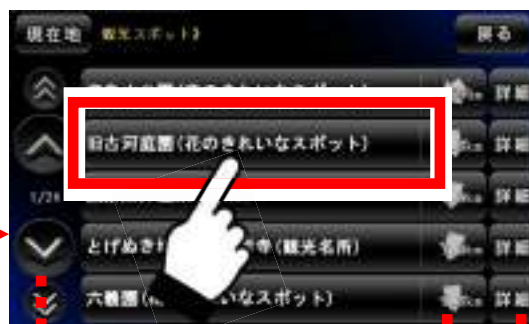
周辺施設の検索について解説します。

周辺施設のボタンをタッチすると、地図の中心から距離の近い順に10km圏内で500件までの施設を検索することができます。

- ① 地図画面上で検索したい場所を中心にして「周辺施設」ボタンをタッチします。



- ② 検索画面からジャンルを選び、リストから施設名をタッチします。



リスト移動

地図の中心からの距離(m)と方向

施設の詳細情報

- ③ 選んだ施設がある地図へ移動します。



吹き出し

※周辺施設データは、全てをカバーしているわけではありません。

目的のデータが存在しない場合もございます。

また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-14. 地点登録

地点登録の方法について解説します。

地図の場所を記録しておくことができます。記録しておけば、ナビメニューの登録地点から、その場所へすぐに移動することが可能になります。

① 登録したい場所を中心にして「地点登録」ボタンをタッチします。



② 登録画面のアイコンと名前を編集して、「登録」ボタンをタッチします。確認画面で「OK」ボタンをタッチします。

- アイコン変更用左右ボタンでお好みのアイコンを選ぶ。
- 文字種ボタンで文字の種類を選ぶ。
- 【削除】ボタン、文字ボタンを使用して文字を入力する。



アイコン変更用
左右送りボタン

文字種変更

③ 登録が完了すると、地図に移動してアイコンと名前の吹き出しが地図に表示されます。



アイコンと吹き出し

●文字種の切り替えについて

地点登録の登録画面の下にある「文字種」ボタンをタッチするたびに、文字種が切り替わります。



(注) 入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

※入力パネルの使い方は「3-20.入力パネルの使い方」解説ページをご覧ください。

※登録地点の確認や地図への移動、編集や削除については、ナビメニューの「3-17-4.登録地点」解説ページをご覧ください。